



09 構台

ツールの呼び出し方

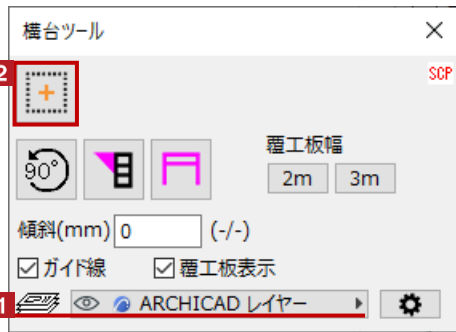
メニューバーからSCP→SCPランチャーを立ち上げ、「構台」のアイコンを選択します



構台のアイコンを選択します

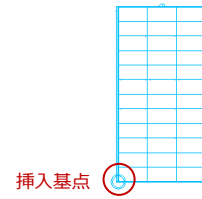
作成方法

配置レイヤーを選択後、画面上で任意の位置をクリックして構台を配置します



1 配置するレイヤーを選択します

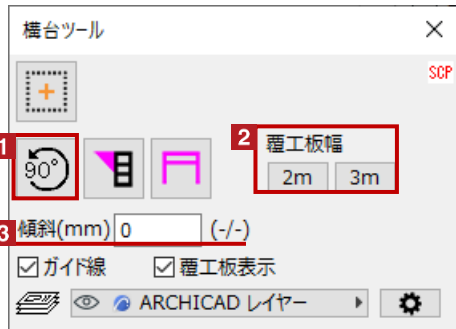
2 をクリック後、任意の位置に構台を配置します



※新規配置の際は、デフォルトの大きさと作成されます

編集方法

作成した構台の配置や仕様などの変更が可能です



1 構台の回転

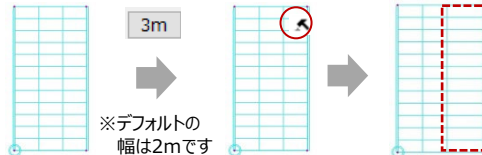
配置した構台を選択後、 をクリックします
構台を選択



回転
※挿入基点を基準に回転します

2 覆工板幅の変更

配置した構台を選択し、覆工板幅（2m、3m）を指定後、変更したい列をクリックします
構台を選択



3 傾斜数値の変更

配置した構台を選択し、傾斜高さを入力します
構台を選択

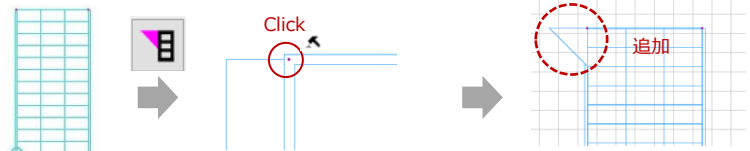


※挿入基点を±0として傾斜します



- 4** コーナーデッキの追加
配置した講台を選択し、 をクリック後、コーナーデッキを追加したい角のHotspotをクリックします

構台を選択



※同じ操作で追加したコーナーデッキを消すことが可能です

- 5** 手摺の削除
配置した講台を選択し、 をクリック後、削除したい手摺をクリックします

構台を選択



※同じ操作で削除した手摺を追加することが可能です

- 6** 覆工板の表示/非表示切り替え
大引、支柱、プレースなどを編集する際に便利です

▶ 2D



▶ 3D

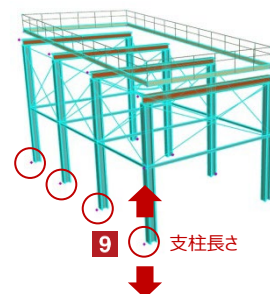
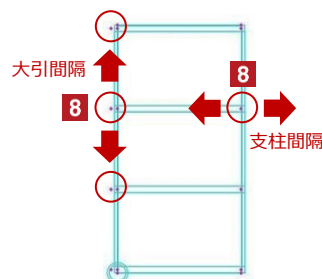


< その他のダイアログ >

- 7** 覆工板表示・詳細設定画面の展開
 をクリックすると、 が展開します

- 8** 大引間隔・支柱間隔の個別設定
 を外すとHotspotが表示され、大引・支柱間隔の個別編集が可能になります（2Dで編集）

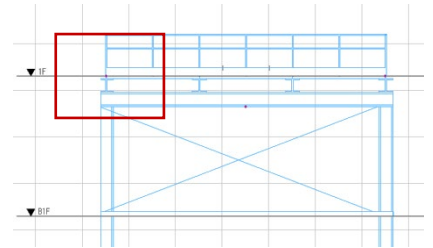
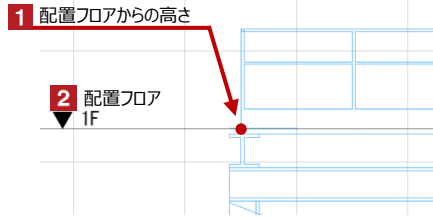
- 9** 支柱長さの個別設定
 を外すとHotspotが表示され、支柱長さの個別編集が可能になります（3Dで編集）





設置基準

構台オブジェクトの設置基準高さは、覆工板の天端です

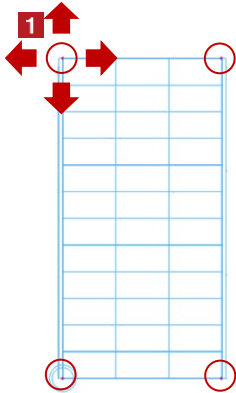


構台の面積・支柱脚長さ変更

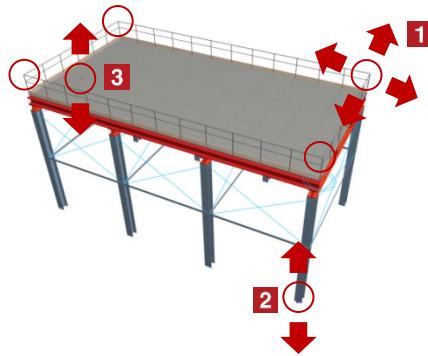
Hotspotをクリックすると、構台の面積、長さなどの変更が可能です

赤のHotspotをクリック→ペットパレットの「頂点を移動」で構台の支柱位置などの変更が可能です

▶ 2D



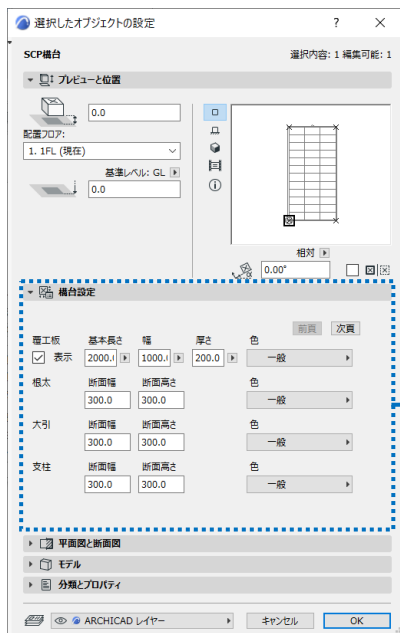
▶ 3D



- 1 構台の面積（覆工板枚数）変更
- 2 支柱脚の長さ変更
- 3 傾斜の変更

オブジェクトの設定

配置した構台を選択し、「オブジェクトの設定画面（Ctrl+T）」で各種設定を変更します



- 1 覆工板の設定
- 2 根太の設定
- 3 大引の設定
- 4 支柱の設定
- 5 ブレースの設定
- 6 手摺の設定
- 7 2D画面上の構台の描画色設定
- 8 2D画面上の構台の着色
- 9 ガイド線の表示切替